

東濃西部少年センター

		多治見	瑞 浪	土 岐	センター	合 計	少年相談
4月	指導件数	0	0	4	0	4	電 話 3
	内女子件数	0	0	1	0	1	メー ル 2
	声かけ件数	473	542	697	50	1,762	合 計 5
5月	指導件数	3	7	1	0	11	電 話 1
	内女子件数	0	0	0	0	0	メー ル 1
	声かけ件数	258	41	414	0	713	合 計 2

《センターより》

5月の指導結果は、上記のとおりです。各地区で指導がなされました。内訳は、喫煙 1名、自転車2人乗り 2名、自転車無灯火 4名、その他（駅構内でのベンチ上土足）4名でした。女性は0名です。お疲れさまでした。

《指導日誌より》

- ・幸町248号線歩道橋の最上段に、雑誌、マンガ、ブックバンド、花火等が散乱していたので回収する。（多治見）
- ・根本児童センターで多くの小学生と話をする機会があった。みんな気持ちよく話をしてくれた。
- ・交番の巡査と不審者等の情報交換し、途中までパトカーと巡回する。（瑞浪）
- ・3日前に同じコースを回ってゴミを拾ったのに、今回もゴミ袋2杯集めた。（瑞浪）
- ・土岐市駅に高校生、有職少年、無職少年が集まっている。（雑談しているだけのようにある）
- ・中学生の下校時刻と重なったが、以前に比べて直ちに帰路につく生徒がほとんどで、かたまって喋っている姿はみられなかった。（多治見）

6月11日（金）今年度2回目の指導部役員会議をまなびパークで行いましたので、その一部を報告します。

所長の挨拶で、21年度から当センターの業務・運営について「0からの見直し」が強くもとめられてきた。22年度は、これについて具体的な策を見いださなければならない厳しい年である。今後この会議を通してご意見を求めることがあるが、ご協力いただきたい。

各地区役員からの意見

○各班でジャンパー・ベストの引き継ぎ・交換がスムーズに進んでいない。早急に対応を考えてほしい。

センター：現在各班長に実態の把握をお願いしている。報告を集約し、6月中に対処したい。

○瑞浪地区では、5月26日と29日の両日、新任指導員を中心に22名がJR駅周辺から土岐川沿い・市役所周辺・新バロー店周辺において街頭指導の現地研修を行った。このことが新聞でも報道され指導員全体に大きな励みになっている。

センター：こうしたPRは、今後もマスコミに対して積極的に働きかけていきたい。

○4月の指導部役員会議でも話題になったが、各指導部間の連携を強めるために青少年の指導に関わる情報の共有化は喫緊のことである。その後の対応はどうなっているのか。センター：リアルタイムでの情報の伝達と3地区がそれを共有し指導に即生かすことは、センターの広域性という視点からも絶対に必要なことである。

現在、パソコンや携帯電話を使ったメールによる送受信システムの導入を検討し、その具体化に向けて専門業者との接触も始めている。